

## Part1 つづき

### 2 ⑥ The first story is (about connecting the dots).

S V M V' O'

Q. connecting は動名詞？分詞？

☞動名詞「～すること」: 前置詞の後ろに動詞を持ってくるときは動名詞の形にするんだった。

- connect O 意味 ( ) ←シスタン p.20 日本語でも派生語の「コネクター」「コネクション」言うね。
- dot 「①点②ドット、水玉模様」ホームページやメールアドレスでは、(.) のことを「ピリオド」ではなく「ドット」と言います。つまり、点。②の意味は使うよね。「ドット柄の服」とかね。点がたくさんあるから、ドット柄だね！

今回は the dots と s が付いているから複数！「点と点をつなぐこと...」と訳そう！

- 最初教科書を読んだときに、The first にはチェックできたかな？

Q.何の最初の話？☞1②three stories の1つ目ということだね！こういうキーワードを逃さない！



渡部先生の解説にもありましたが、英語は**抽象→具体**で文が書かれます。

connecting the dots 「点と点をつなぐこと」って何だ？よく分からないよね。これが**抽象表現**です。じゃ、どこ読めば分かるの～？もちろんこの後に具体例が来るんだね☺ (模試などでも、この抽象表現で読むのをやめてしまっはイケナイ！！)

英語は**抽象→具体**、これが分かれば英文がもっと読みやすくなるね～☺

### ⑦ I dropped out (of Reed College) (after the first six months).

S V M M

- drop out of ~ 「～をやめる、(学校など)を中途退学する」

日本語でも「ドロップアウトする」って言いますね。

- Reed College 「リード大学」アメリカの大学です。優秀な大学ですが、自由な雰囲気らしい☼

### ⑧ I couldn't see the point (in it).

S V O M

- see O は「O が見える、O に会う」以外に「O を見出す、O を理解する、O が分かる」という意味もあります。目で見て分かるイメージ。

- point は鋭いものの先のイメージ！！ 

「先端」という意味から、「点」になったのね。先端は「点」だよな。「時点」、「地点」などいろんな点を表すんだけど、覚えておきたいのは、**point は重要な点**を表すということ。

「論点」、「利点、意義」という意味があります。

- ということで、今回の see the point in it に戻ろう。この it は⑦の文の Reed College。

直訳: 「リード大学の重要な点を見出すことができなかった、理解できなかった」

☞「リード大学の意義(利点)を見出すことができなかった」くらいに訳せばいいね☺

つまり、その大学に在学している意味が分からなかったんだね。

この文も少しわかりにくいから、次の文で具体的に説明してありますね。

### ⑨ I had no idea (of <what I wanted to do with my life> )

S V O1

and no idea (of <how college was going to help me figure it out>),

O2



長いので、2文に分けて解説します。

• **have no idea (of) + 疑問詞 S'V'** 「～について全く分からない」

have no idea.は「全く考えを持っていない」⇨「全く分からない」という意味です。形容詞の **no** は強い否定を表すので、I don't know.「分からない」よりも、「全く分からない」という強いニュアンスです。何が分からないかを後ろに of ~ 「～について」をつけて表します。

例：I have no idea (of) what I should do. 「今何をすべきか全くわからない。」

ただし、後ろが疑問詞+S'V'(間接疑問文)の時は、of はよく省略されます。上の文にはあえて of を補いましたが、教科書では of が省略されています。

• **What do S do with ~?** 「S は～をどう処理するのか、～をどうするのか。」←疑問文で使う。次のような形では使わないけど≪S do O with ~≫ 「～に対して S は O をする」の O が疑問文で what になり、「～について S は何(O=what)をしますか?」⇒「～をどう処理しますか? (どうしますか?)」という発想で理解しよう。

例：What should I do with these tons of homework?

「この山ほどの宿題をどうしよう? (どう処理すべきだろう?)」



本文は、疑問文が文中に入った間接疑問文なので、疑問詞+S'V'の語順になっています。(疑問文の語順にはしない) ちなみに、<疑問詞+S'V'>のかたまりは名詞節でしたね。だから of (前置詞) の後ろに持ってこれるのです。さらに、want to do ~ 「do したい」が入っていますね!

**訳してみよう!** I have no idea (of) what I wanted to do with my life...

⇨「自分の人生をどうしたいか全く分からなかった」

Q. **and** がつなぐものは? ⇨前の no idea~と後ろの no idea~ だね!

つまり分からないことが2つあったんだね。 **and, but, or は同じもの(品詞)をつなぐ!**

• **help O (to) do** 「O が do するのを助ける、O が do するのに役立つ」to は省略可

• **figure O out / figure out O** 「O を理解する」

out は「外へ」だから、『知らなかったものが外へ出る』⇒理解のイメージ!

ちなみに、この↑ように、動詞と副詞から成るイディオムは、

I can't figure **Tom** out. 「トムが理解できない」

I can't figure out **Tom**.

のように **Tom(=O)**の位置は、figure **O** out でも figure out **O** でも良い。

※ただし、**O**に代名詞が入るときは動詞と副詞の間にしか置けないんだったね。

×I can't figure out him. ⇨him が代名詞なので、figure him out の語順にしなければいけない。

英語は新情報を後ろに持ってくる言語なので、代名詞(旧情報)は挟む!と覚えよう!

この英文も O が it (代名詞) なので、figure it out の語順になっています。

その他：turn O on / turn on O, turn O off / turn off O, put O off / put off O など結構あります。

「O (電気など)をつける」 「Oを消す」 「Oを延期する」

• **figure it out** の it が指すものは? ⇨what I wanted to do with my life

⑩ **so I decided [to drop out and believe <that it would all work out OK>].**

S V O V' V'2 O' S'' V''

⑨の続きです。

• **so** はもう分かっているね! **理由**⇨so「だから」⇨**結果** この因果関係を確認!

O を理解するシリーズ!

- understand O
- comprehend O
- make O out [out O]
- make sense of ~
- take in ~



今回は⑨が理由で⑩の so 以下という流れです。

Q. and がつなぐものは？ ⇨前の drop out と believe 以下

...decided to 【drop out】 and 【believe that ...】 この to は両方の動詞にかかっています。  
決定したことが 2 つあるのですね。 **and, but, or は同じもの (品詞) をつなぐ!**

・ it would all work out OK

・ この it はここで覚えよう。『漠然とした状況を表す it』です。(チャート p.499) 訳さなくて OK!

・ この would は何を表す？ ⇨ 『過去から見た未来』、時制の一致で would になっています。

・ work out (自動詞) 「うまくいく」

余裕がある人は覚えよう! 他動詞⇨work O out /work out O は「O を解決する」

・ all は副詞 「(漠然とした状況が) すべて」

・ OK も副詞 「うまく」 だけど、work out の意味と被るので訳さない。

訳⇨「だから、私は中退して、(中退した漠然とした状況が) すべてうまくいくと信じることに決めた。」

⑩ It was pretty scary (at the time), but (looking back), it was one (of the best  
S V C M M S V C M  
decisions < I ever made>).  
S' V'

・ 1 つ目の it は何を指す？ ⇨これも『漠然とした状況の it』

「中退して何もかもうまくいくと決めた」 その当時の状況って、怖いし不安だよな。

・ scary (形) 「人を怖がらせる、怖い」 [skéəri]

例: The Halloween mask is scary. 「あのハロウィーンの仮面怖い。」

例: This world is a scary place. 「この世の中は怖い場所だ。」

ちなみに、動詞は scare+人 「人を怖がらせる」 ⇨ 『させる動詞』 なんですな!

なので、人が怖がっていることは受け身で表します。例: I'm scared. 「こわい」



・ pretty の品詞は？ ⇨scary (形) に修飾しているから副詞だね!

☆副詞が修飾するのは名詞以外 (形容詞、副詞、動詞)

pretty(副) 「かなり」 ≡very 形容詞なら「きれいな、かわいい」、品詞で意味が変わるので注意!

・ at that time 「その時、当時」 this は『近い』 that は『遠い』 イメージだね

だから these days 「最近」、in those days 「当時、あの頃は」

・ but が繋ぐものは？ ⇨文 1(SV) と文 2(SV)

【It was pretty scary at the time】,

文 1(S V)

but 【(looking back), it was one of the best decisions I ever made】.

文 2 (S V)

・ looking back の部分は何? [ヒント] looking back, it was one of the best decisions だけ考え

よう! looking back は完全文にくっついているね。つまり副詞だ!

⇨分詞構文 (Lesson1 part4 の解説、もしくはチャート p.232~で確認)

looking back, it was one of the best decisions I ever made

復習分詞構文だ! まずは主語を補おう。「誰が」 振り返った? ⇒主節の S と同じだから「it」 ん??

次に時制! looking back はいつのこと? ⇒doing の形なら主節(was) と同時、今回は過去

最後に接続詞を補おう。「振り返った」「それは最高の決定の 1 つだった」 どう 2 文を自然につなぐ?

⇨「振り返ってみると、それは最高の決定の 1 つだった」 くらいだね。

でも、疑問が残るよね。『振り返った』 のは誰? 「it (⑩の文で決めた内容)」 じゃないよね、「私」 だね。when I looked



back で書き換え可能だから、分詞構文は本来であれば主語 (I) が主節の主語 (it) と異なる時は省略せず、【I looking back】にならなければならない。I を省略したこの文のような形は、文法的には誤りと見なされるけど、実際の英文ではよく見られます。みんなはまず原則で覚えよう。例外も上の流れで当てはめてみて、「あ～主語が違ってるやつね」くらいで流せるようになりましょう^^

**Q.the best decisions ( ) I ever made ←I の前に省略されているものは？**

☞ **関係代名詞 that** : 関係代名詞の後ろは**不完全文**。後ろで足りないものは made の目的語だね。つまりこの関係詞は目的語の代わり、目的格ということができます。関係代名詞の目的格は省略可でしたね。関係代名詞のかたまりは形容詞節なので前の名詞にかけて訳す。

the best decisions <( that ) I ever made> 「私が今までにした**中**で最高の決定」

**覚える** 名詞+S'V' は関係代名詞の省略を疑おう！！

- the **形容詞の最上級**+**名詞**+<( that ) S have ever p.p.> 「S'V'した**中**で最も形容詞な名詞」  
↑『中で』と訳すと上手くいきます  
「今までに S'V'した」は現在完了形 (have+p.p.) を使うのですが、口語では ever+過去形という時もあります。ちなみに先行詞 (関係代名詞節が修飾する名詞) に強い限定が付いた時は that が好まれるのでした。今回の最上級もそうだね。怪しい人はチャート p.287

- 2つ目の it は何を指す？ ☞こちらは⑩の**決めた内容**ですね！「それは、私が今までにした**中**で最高の決定のうちの1つだ」と言っているということは、it は決定だね。

⑫<The minute I dropped out>, I could stop [taking the required classes <that were not interesting (to me)>], and begin [dropping in (on <whatever class looked S'' V'' interesting>)].

M S' V' S V1 O1 V' O' S'' V''  
C'' V2 O V' S'' V'' interesting>].  
C''

- the minute S'V' 「S'V'するとすぐに」

「S'V'するとすぐに」シリーズ！

As soon as S'V'	as soon as は接続詞でしたね。同じように、
The minute S'V'	the minute, the moment, the instant も後ろに S'V'が来ると接続詞の働きをします。かたまりの品詞は副詞 M です。時を表す副詞節です。
The moment S'V'	minute, moment, instant もそれぞれ「瞬間」の意味があり、そのイメージ
The instant S'V'	↑まず、これだけ覚えておこう！！余裕がある人はチャート p.409(a)も見ておこう！

- stop doing と stop to do の違いは？

☞ **stop doing** 「do することをやめる」、**stop to do** 「do するために立ち止まる」  
動名詞 doing は『今やっていること』のイメージ！今回の to do は不定詞の目的『do するために』だね。

- require O 「O を必要とする」

**Q. the required classes とは何？** ☞required は過去分詞、**分詞は形容詞**だったね。過去分詞は「～される」と訳せばいいから、「必要とされる授業」⇒「必修授業、必修科目」なんて訳せばいいね。

**Q. the required classes that were not interesting to me** この that は何？

☞ 関係代名詞: 後ろが不完全文!! 関係代名詞のかたまりは形容詞、前の名詞にかけて訳そう。

Q. and が繋ぐものは? ☞ stop~と begin~ 同じ形 (品詞) を繋いでいるね。今回は could の後ろだから原形と原形、could が両方にかかっています。今回は「~できた」でOK。

・ begin to do / begin doing 「do し始める」

・ 立ち寄るシリーズ!

drop in on 人 人に会うのは接するから『接触』の on

drop in at 場所 場所は地点だから at だね。

call on 人 //

call at 場所 //

visit O

stop by ~ by は「~のそばで」という意味もある。「~のそばで足を止める」⇒「立ち寄る」

pay A a visit = pay a visit to A 「A に一回の訪問を行う」の意味、4文型、3文型両方言える。



今回は「授業に立ち寄る」=「授業を聴講する、授業に出る」くらいに訳しましょう。授業は『場所』というよりは、先生や生徒たちと学びを深める=人に会うイメージなので、ここの前置詞は『接触』の on が使われています。

・最後の whatever class looked interesting は複合関係詞のプリント (別紙) で説明します。